



自分を見つける 自分を高める
未来を切り拓く 学ぶ力

本校の使命

SCHOOL MISSIONS

教育研究校として

県内公立学校や行政機関、大学と協働して、新たな教育課題の解明に向けて実践研究を重ね、その成果を発信しながら時代をリードする学校

教員研修学校として

教育学部附属として教育実習を受け入れるだけでなく、教職大学院や教育センターと連携し、県内の教職員研修や学びの場として教員の成長を支える研修学校

地域に貢献する学校として

地域に根ざしたテーマでカリキュラム開発や県内の新しいモデルとなるような研修を発信する香川県に貢献する学校

教育目標

EDUCATIONAL GOALS

「広い視野をもった個性豊かな生徒の育成」

Develop students' individuality and broaden their horizons

めざす生徒像

Our Vision for Students

自主・自立

Autonomy・Independence

心身ともに健康で、自ら積極的に人・もの・ことにかかわり、自己を振り返り、生涯にわたって学び続ける生徒

共生・協働

Coexistence・Collaboration

集団や地域社会の一員として生きる中で、自己の役割と責任を自覚し、自他を尊重し、進んで役立つ行動ができる実践的な生徒

探究・創造

Inquiring mind・Creativity

より高い目標を定め、常に探究的な態度をもち、よりよい社会を創造していく活力ある生徒



生涯にわたって学び続ける 自立した学習者を育てる

教科における「ものがたり」の授業、「共創型探究学習 CAN・シャトル」、特別の教科道徳や「語り合いの時間」、学校行事等の特別活動など、特色ある教育カリキュラムの中で語り合い、探究することを通して生まれる学びが互いに絡み合い、生徒たちは生涯にわたって学び続ける意欲をもった「自立した学習者」へと成長していきます。

学びの物語

NARRATIVE OF STUDENT

私は、他の人の考えを聴いて学ぶことがとてもおもしろいと感じるようになりました。
教科の授業では、みんなが考えたり、一人で考えたり、一人で考えたこと
みんなに話したりしました。その活動で、私が考えたこととみんなの考えた
こと比べて、全く違う考えだったり、答えが同じでも過程や根拠が違っ
たりするのを知った時は、驚いたり、理由をきいたりするのが楽しかったり
しました。中には、自分の持っていた疑問を友達が出して、自分の
ではすでに結論が出ているけれど、その疑問と一緒に考えることで、
考えを深めていくようなことがあり、とてもおもしろかったです。

CANでは、一つのクラスターで同じ方向に向かっていますが、そこに教
科の学習が重なってたり、他のメンバーと違う視点から考え、調
査や実験をしていくのとてもおもしろかったです。また、3年生の時
のCANでは、仮説をしっかりと立て、そこから探究方法を仮説の
証明できるように考えていくのが楽しかったり、一度は失敗ができてい
く失敗してしまふことがあったり、大切さを学ぶこともできました。

語り合いでは、教科の授業と同じように、自分の考えを同
じでも理由が違ってたりすることがあったり、反対に自分と違う答えでも

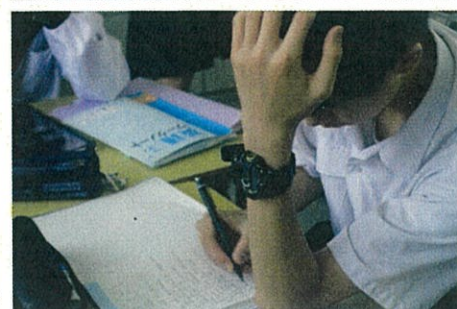
なぜか同じような理由の人がいることに驚きました。なんとなく、「私
はこう思っているけど、もしかしたら少数派かもしれない」と思ってい
ても、意外とみんな同じようなことを思っていたり、違ふこともあったり
することがあり、もしかしたら授業中の発表でも、「どうせ少数派だ
ろう」と思っていることなど、周りの意見の思いこみを感じている人が
おもしろいというところに気付きました。また、最後に果学年で語り合
いをした時は、3年生として進もうとしているのがとてもおもしろ
かったです。他の問いとつながって考えることで進歩が上手いとき、みんな
で探ることもできていた。一つの問いについて考えるだけでなく、
他の問いも考えてみることで、より深く知ることができ、問いを組
み合わせていくことが大切だと学びました。

各種行事では、プロジェクトとして全体をまとめることが多
いのですが、プロジェクト同士でもめたり、プロジェクトの熱量に
他の人の熱量が追いついていないこともあって、めめてしまったり、
マイペースの感情が生まれてしまうことも多々ありました。しかし、
本番を目前にになると、みんな一つの方向を向いていくことに
驚きました。みんなが一つの目標に向かって頑張っていることで、
お互い協力して「こんな、大切なことだ」と感じました。

この学校ではいろいろなことで、大切なことをたくさん学び
ました。たくさん書きましたが、一番私にとって大切な学びは「学ぶこと
楽しい」と学んだことです。これからも全ての学びにつながっていて、
とても将来、生きていく上で大切なことだと思います。

各教科における「ものがたり」の授業

学ぶことは、新たな自分を生み出していくこと。学んだことをこれまでの経験と関係づけ、意味や価値を実感しながら自己を理解し、自己を形成していく授業（「ものがたり」の授業）をめざして取り組んでいます。



自分が学ぶ意味とは？

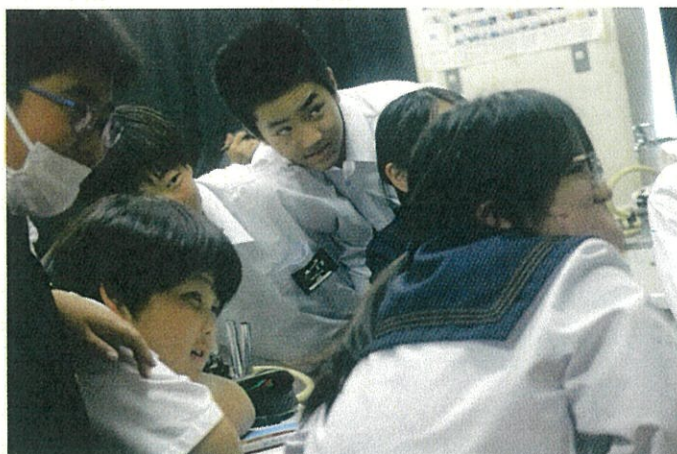
私のとなりには、何度も何度もいろいろな方法のためし、あきらめず頑張っている友達の姿があった。私には、その姿がとても輝いて見えた。答えがないはずはない。私はそう考え直すことができた。それからコンパスを持って作図を考えると、試したい方法が次々に思い浮かび、たくさん試した。さっきまでの私とは全く違うようだった。どんどん紙にコンパスの針と鉛筆の跡が残っていく。何度試しても正解ではなかった。でも、楽しかった。さっきは答えが出なくて退屈だった。今は答えが出なくても楽しい。違っていたことは、「試してみよう」という気持ちだった。

～生徒の授業後の振り返り（第1学年 数学科）から一部抜粋～



今回は対話形式だったので、いつもの怒濤の暗記では乗り切れないと覚悟していた、この単元が始まる前、私はアドリブでの英語の会話ができなかった。自分の伝えたいことを脳内で英語にするなんて無理だと思っていたし、相手の話を聞く時も、分からない単語に気を取られたり、スピードについていけなくなったりしてなかなか理解できなかった。でも、授業をしていくうちに、自分の話せるコツが分かってきた。（中略）使える文を覚えておけば、会話につまった時もそれを言えば乗り切れると思うと、楽になって、話すことも苦ではなくなってきた。本番は、すごく緊張したけれど、今まで積み上げてきた会話力を生かして私の意見を伝え、質問も深いものができたと思う。

～生徒の授業後の振り返り（第3学年 外国語科）から一部抜粋～



異学年の学び 共創型探究学習 CAN、語り合いの時間

共創型探究学習 CAN は私たちの身のまわりの世界すべてを対象に、生徒自らが興味あることを見つけ、納得いくまで探究し、自己の成長や可能性を実感していく本校独自の学習です。3学年の生徒が探究小集団をつくり、互いの特技や個性を生かしながら、協力して探究を進めます。この学習をとおして、生徒は日常の問題とつなげて教科の学びを活用したり、探究するスキルを学んだり、答えのない問題に挑戦する難しさや達成感を感じたりします。

語り合いの時間は、「こども哲学」の哲学対話を参考に、「ふつうって何?」「なぜ勉強するの?」といった答えのない問いに対し、小集団で問い、考え、語り、聞き合うことを通して自らの考えを深めていく学習です。身の回りの様々なことに問いをもち、自問自答しながら、自己の在り方、生き方を問い続ける力をつけていきます。



語り合い、探究する中で

本校独自の学校行事

修学旅行（4月）

鹿児島・屋久島方面での感動体験。



附属坂出学園合同運動会（10月）

幼・小・中・特別支援学校の児童・生徒たちが一緒になって運動会を開催します。

送別芸能祭（3月）

監督、脚本、演出、音響、衣装など、1、2年生が自分たちで一つの演劇を創り、卒業する3年生に贈ります。



地域・外部講師・外国との学び

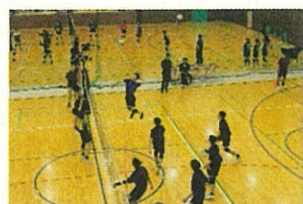


共創型探究学習 CAN の探究において、大学や企業の専門家から学んだり、大学出前授業で教授から先進的な知識を学んだり、地域の方や保護者から仕事や生き方について学んだりします。また、コロラド大学からの留学生を招いての外国語の授業、ゆかた着方教室、地元企業と協働の SDGs の授業、財政省と連携した金融教育など、多様な学びを経験する中で、多角的な視点や考えを身に付けていきます。

つむぐ学びの物語

自主性と個性を重視した部活動

通常の部活動は 17:00 まで（夏の延長時は希望すれば 18:00 まで活動可）、原則として毎週水曜と日曜の部活動は「No 部活 Day」にするなど、活動時間は決して長くはありませんが、生徒自らが効率よく練習する方法を工夫したり、解決に向けて試行錯誤したりするなど、自主性と個性を大切に部活動を行っています。また、部活動の他にも各種検定（英語・漢字・数学）、科学の甲子園ジュニア（R5 全国優勝）等でも活躍しています。



令和 7 年度の部活動の主な成績

香川県総合体育大会出場 バスケットボール部（男・女） バドミントン部（男女個人） 剣道部（男子団体）
卓球部（男女団体・個人） ソフトテニス部（男女個人）

四国総合体育大会出場 陸上部（個人）

全日本吹奏楽コンクール香川県大会金賞

科学の甲子園ジュニア香川県大会敢闘賞

主な行事予定

SCHOOL EVENTS

前期

4月

- ・始業式/新任式
- ・入学式
- ・修学旅行
- ・学年団レクリエーション
- ・授業参観
- ・松韻会総会

5月

- ・前期スタートテスト（隔年）
- ・教育実習（他学部/養護）
- ・前期研究授業（5~7月）

6月

- ・研究大会（隔年）
- ・前期中間テスト

7月

- ・部活動壮行会
- ・中学校総合体育大会（郡市/県）
- ・懇談会

9月

- ・教育実習（主免/副免/他学部/本校卒/養護）

10月

- ・附属坂出学園合同運動会
- ・後期スタートテスト
- ・集団宿泊学習（2年）
- ・授業参観/CAN発表会
- ・後期研究授業（10~12月）
- ・中学校新人体育大会（郡市/県 10~1月）

11月

- ・後期中間テスト
- ・オープンスクール/地域の方・保護者の方による未来につながる進路学習

12月

- ・大学出前授業
- ・懇談会

1月

- ・本校入試

2月

- ・学年末テスト

3月

- ・送別芸能祭
- ・卒業式
- ・修了式
- ・離任式

後期

部活動

CLUB ACTIVITIES

運動

- ・野球部
- ・バスケットボール部
- ・バレーボール部
- ・バドミントン部
- ・卓球部
- ・ソフトテニス部
- ・剣道部/陸上部（大会引率のみ）

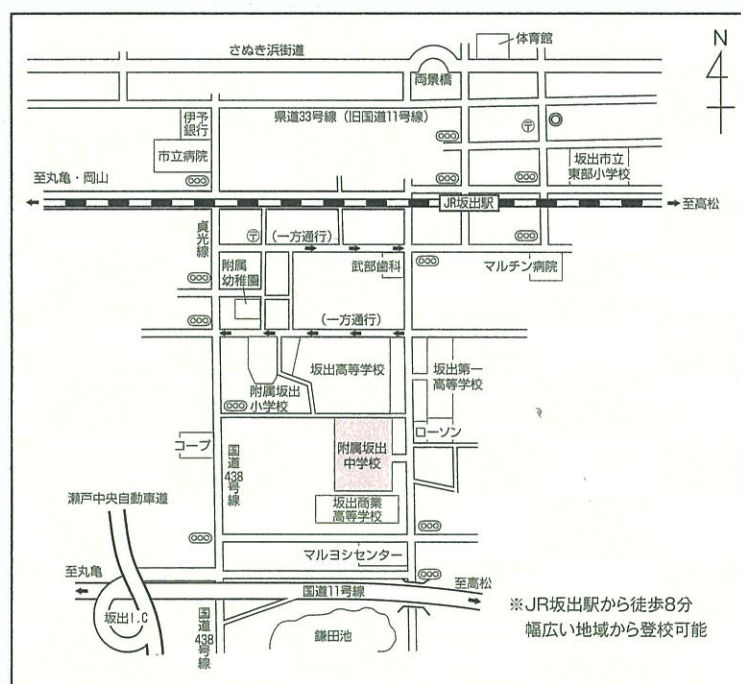
文化

- ・吹奏楽部
- ・美術部
- ・茶道部
- ・生花部
- ・数学部
- ・理科部
- ・英語部
- ・家庭科部
- ・技術・コンピュータ部

生徒数

NUMBER OF STUDENTS

	1 年	2 年	3 年	合計
男子	60	54	57	165
女子	45	51	48	150
合計	105	105	105	315
学級数	3	3	3	9



香川大学教育学部附属坂出中学校

〒762-0037 香川県坂出市青葉町1番7号

TEL 0877-46-2695 FAX 0877-46-4428

E-mail: fuzoku-sakachu@kagawa-u.ac.jp

<http://www.sch.ed.kagawa-u.ac.jp/>

